

解良 武士：日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科
理学療法学専攻 准教授
学位：博士（保健医療学）（就任：平成19年4月）

○教育担当科目

呼吸・循環器系疾患理学療法学、呼吸・循環器系疾患理学療法学実習、機能・能力診断学実習Ⅱ、理学療法学研究法、基礎ゼミ、理学療法学見学実習、理学療法学見学実習セミナー、機能・能力診断学臨床実習、機能・能力診断学臨床実習セミナー、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅰセミナー、総合臨床実習Ⅱ、総合臨床実習Ⅱセミナー、卒業研究

○業績目録

I. 著書：

1. ペルビックアプローチ（共訳）：医道の日本社，丸山仁司，黒澤和生，解良武士 他；39-65，(Diane Lee 著 監訳 丸山仁司)，2001.
2. 理学療法科学シリーズ 運動学実習マニュアル第1版（共著）：アイベック，解良武士，中山彰博 他；93-114，(編集 安藤政志，黒澤和生)，2002.
3. 図解 自立支援のための患者ケア技術（共著）：医学書院，潮見泰藏，齋藤昭彦，解良武士 他；74-87，(監修 初山泰弘 編集 潮見泰藏，齋藤昭彦)，2003.
4. 理学療法士・作業療法士国家試験問題シリーズ模擬試験問題（共著）：アイベック，今泉 寛，黒澤和生，解良武士 他，(編者 理学療法科学学会)，2000-2004.
5. 理学療法科学シリーズ 運動学実習マニュアル第2版（改訂版）（共著）：アイベック，解良武士，中山彰博，伊藤芳保 他；93-114 (編 安藤政志，黒澤和生)，2004.
6. コメディカルのための専門基礎分野テキスト 運動学（共著）：中外医学社，解良武士，丸山仁司，竹井 仁，齋藤昭彦 他；55-65，(監修 北村 聡，北川定謙，開原成允 編者 丸山仁司)，2004.
7. 内部障害系理学療法実践マニュアル（共著）：文光堂，丸山仁司，中田昌敏，高橋哲也，奈須田鎮雄，解良武士 他；420-430，(編者 丸山仁司)，2004.
8. 福祉住環境コーディネーター2005 検定試験2級模擬問題集（共著）：一橋出版，埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科医療福祉研究班，猪股高志，解良武士 他；2-10，2005.
9. 理学療法士・作業療法士のための急性期リハビリテーションハンドブッカーチーム医療で必要なクリニカルポイント：文光堂，陶山哲夫，高橋哲也，解良武士，他；434-442，(Jaime C. Paz & Michele P. West 著 監訳 陶山哲夫 他)，2005.
10. 理学療法科学シリーズ 物理療法学実習マニュアル（共著）：アイベック，猪股高志，黒澤和生，解良武士 他；82-91，(監修 安藤正志)，2005.
11. 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級模擬問題集（改訂版）（共著）：一橋出版，埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科医療福祉研究班，解良武士；2-56，2006.
12. 福祉住環境コーディネーター検定試験 過去問 500（単著）：新星出版，解良武士，(監修 解良武士)，2006.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の著書

1. 福祉住環境コーディネーター2006 検定試験2級模擬問題集（共著）：一橋出版，埼玉医

- 科大学総合医療センターリハビリテーション科医療福祉研究班, 解良武士, 2007.
2. The ROM 第1版(共著): アイベック, 秋山純和, 浅原早苗, 解良武士 他, (編者 丸山仁司, 西田祐介), 2007.
 3. 福祉住環境コーディネーター検定試験 過去問 500 (改訂版) (単著): 新星出版, 解良武士, (監修 解良武士), 2008.
 4. 福祉住環境コーディネーター2007 検定試験2級模擬問題集(改訂版)(共著): 一橋出版, 埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科医療福祉研究班, 解良武士, 2008.
 5. 考える理学療法「内部障害編」(共著): 文光堂, 上月正博, 内山 覚, 解良武士 他; 173-187, (編集 丸山仁司, 竹井 仁 他), 2008.
 6. 福祉住環境コーディネーター2008 検定試験2級模擬問題集(改訂版)(共著): 一橋出版, 埼玉医科大学総合医療センターリハビリテーション科医療福祉研究班, 解良武士, 2009.
 7. 理学療法「ゴールド・マスター・テキスト6: 内部障害系理学療法学」(共著): メジカルビュー, 高橋哲也, 解良武士, 木村雅彦, (編集: 柳澤 健), 2010.

II. 学術論文

①論文

1. 三和真人, 鈴木克彦, 解良武士 他: 運動訓練に伴う相反性抑制の経時的変化の研究. 山形保健医療研究, 第5巻; 43-50, 2002.
2. Takeshi Kera and Hitoshi Maruyama: Study of Influence Factor on Maximal Mouth Pressure Part I. -Influence of Posture-. J Phys Ther Sci, Vol. 13, 2; 153-160, 2001.
3. Takeshi Kera and Hitoshi Maruyama: Study of Influence Factor on Maximal Mouth Pressure Part II. -Influence of Trunk Flexion-. J Phys Ther Sci, Vol. 13, 2; 161-166, 2001.
4. 一場友実, 解良武士, 島本隆司 他: 呼吸抵抗負荷の相違による呼吸筋活動の分析. 理学療法科学, 第17巻, 第3号; 195-198, 2002.
5. 解良武士, 一場友実, 大村陽子 他, Threshold®の肺気量分画測定からみた検討. 埼玉理学療法, 第10巻, 第1号; 25-32, 2003.
6. 解良武士, 小椋一也, 猪股高志: ウェイトリフティング選手の呼吸機能特性について: 呼吸筋力に着目して. 日本生理人類学会誌, 第9巻, 第4号; 151-156, 2004.
7. Takeshi Kera and Hitoshi Maruyama: The Effect of Posture on Respiratory Activity of the Abdominal Muscles. J Physiol Anthropol Appl Human Sci, Vol. 24, 4; 259-265, 2005.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の原著

1. 武井圭一, 杉本 諭, 解良武士 他: 学内検査実習前後における検査能力自己達成度および実習満足度の検討. 理学療法科学, 第22巻, 第1号; 83-87, 2007.
2. 解良武士, 武井圭一: 上肢挙上が呼吸運動出力と換気に与える影響. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌, 第17巻, 第2号; 153-156, 2007.
3. 解良武士, 長谷川聡, 大島洋平 他: 呼吸同調現象(LRC)の気道閉塞圧(P0.1)からの検討. 日本生理人類学会誌, 第13巻, 第4号; 219-226, 2008.
4. 加藤真由美, 伊藤芳保, 解良武士 他: 携帯電話を利用した e-Learning の試み. リハビリテーション教育研究; 31-36, 2009.

②総説

1. 解良武士：呼吸筋力の特性. 理学療法科学, 第16巻, 第4号; 231-238, 2001.
2. 解良武士：高齢者の転倒. 埼玉理学療法, 第9巻, 第1号; 7-13, 2002.
3. 解良武士：呼吸筋力の測定. 理学療法科学, 第17巻, 第4号; 265-271, 2002.
4. 解良武士：呼吸筋力と増強 (特集 筋力とトレーニング). 理学療法科学, 第18巻, 第1号; 1-6, 2003.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 赴任後の総説

1. 解良武士, 本橋みどり, 工藤昌弘 他：生活習慣病対策と理学療法. 日本医療科学大学研究紀要, 第1巻, 第1号; 53-58, 2008.
2. 解良武士, 古泉一久：呼吸筋トレーニングによる持久性能力の向上の可能性. 理学療法科学, 第24巻, 第5号; 767-775, 2009.

③その他 (解説・レビュー・文献抄録など)

1. 解良武士：冠動脈バイパス術後患者に対するシャトルウォーキング試験の再現性と有効性 (文献抄録). 理学療法ジャーナル, 第40巻, 第1号; 82, 2006.
2. 解良武士：息切れ管理の直接的な影響に関する研究, 無作為化試験 (文献抄録). 理学療法ジャーナル, 第40巻, 第5号; 404, 2006.
3. 解良武士：重症 COPD 患者に対する吸気補助換気によるトレーニング (文献抄録). 理学療法ジャーナル, 第40巻, 第7号; 596, 2006.
4. 解良武士：COPD 患者に対する高負荷吸気筋トレーニング (文献抄録). 理学療法ジャーナル, 第40巻, 第12号; 1071, 2006.

Ⅲ. 学術刊行物 (商業誌等、レフリーシステムは問わない)

1. 猪股高志, 西田裕介, 解良武士 他：雑誌レビュー Physiotherapy (2004年度版) まとめ. 理学療法ジャーナル, 第39巻, 第9号; 820-826, 2005.

Ⅳ. 学会および研究発表会

【国際学会】

②一般演題などの発表

1. Takeshi KERA, Kazuo Kurosawa : A Study on the Stroke-Volume Fluctuations During Inspiratory Respiratory Pressure Training. 10th International congress of the Asian Confederation for Physical Therapy, Tokyo, 2008.

【国内学会】

①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップなど

1. 「高齢者の整形外科疾患に対する理学療法」 講師：2000 (埼玉県理学療法士会).
2. 「筋力とトレーニング」呼吸筋力と増強 講師：2003 (理学療法科学学会春期研修会).
3. 訪問介護員ホームヘルパー2級養成講座 講師：2000～2007 (社会福祉法人元気村).
4. 住環境福祉コーディネーター受験対策講師：2001 (社会福祉法人元気村).
5. 福祉用具専門相談員講習会 講師：2000～2004 (社会福祉法人元気村).

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻赴任後の講演等

1. FIA「健康運動指導士」受験対策講座 講師：2008 (日本フィットネス産業協会).

2. 「健康運動指導士」直前緊急受験対策講座 講師：2009 (健康スポーツ連盟).
3. 公開講座「続ける運動とその効果」 講師 平成 21 年 11 月 3 日：2009 (埼玉県理学療法士会北部ブロック).
4. 熊谷地区講演「呼吸困難感の感知モデルからみた呼吸リハビリテーションアプローチ」 講師：2009 (埼玉慈恵病院).
5. 健康運動指導士受験対策講座 講師：2010 (健康スポーツ連盟).
6. 院内勉強会「よくあう呼吸器疾患の病態生理」講師：2009 (埼玉慈恵病院).
7. 院内勉強会「呼吸困難感のメカニズムとりハビリテーション」 講師：2009 (脳血管研究所付属南東北福島病院).
8. 院内勉強会「呼吸困難感のメカニズムとりハビリテーション」 講師：2009 (新横浜リハビリテーション病院).

②一般演題などの発表

1. 三和真人, 大村陽子, 中村信義, 解良武士 他：電気刺激の訓練効果についての神経学的解析. 第 9 回埼玉県理学療法学会, 2000, 12 月, 大宮.
2. 笠原みどり, 櫻田弘治, 解良武士 他：当院における外来型包括的呼吸リハビリテーションの紹介. 第 9 回, 埼玉県理学療法学会 2000, 12 月, 大宮.
3. 中村信義, 平山厚子, 大村陽子, 解良武士 他：理学療法におけるインフォームドコンセントの実態 (第 1 報) 説明について. 第 9 回埼玉県理学療法学会, 2000, 12 月, 大宮.
4. 中村信義, 平山厚子, 大村陽子, 解良武士 他：理学療法におけるインフォームドコンセントの実態 (第 2 報) 同意について. 第 9 回埼玉県理学療法学会, 2000, 12 月, 大宮.
5. 中村信義, 木村直子, 解良武士 他：理学療法士の法と倫理に対する関心 (1) 倫理. 第 35 回日本理学療法学会学術大会, 2000, 5 月, 鹿児島.
6. 中村信義, 木村直子, 解良武士 他：理学療法士の法と倫理に対する関心 (2) 法. 第 35 回日本理学療法学会学術大会, 2000, 5 月, 鹿児島.
7. 解良武士, 丸山仁司：呼吸筋力と体幹筋力の関係についての一考察. 第 35 回日本理学療法学会学術大会, 2000, 5 月, 鹿児島.
8. 解良武士, 丸山仁司：姿勢・体幹屈曲が最大口腔内圧に与える影響. 第 36 回日本理学療法学会学術大会, 2001, 5 月, 広島.
9. 解良武士, 一場友実, 大村陽子 他：呼吸抵抗負荷訓練器の肺気量分画測定からみた検討. 第 10 回埼玉県理学療法学会, 2001, 12 月, 大宮.
10. 糸数昌史, 解良武士, 江口勝彦 他：呼気抵抗運動及び腹筋運動時の呼吸筋疲労に関する検討. 第 42 回日本呼吸器学会, 2002, 3 月, 仙台.
11. 解良武士, 一場友実, 糸数昌史 他：Threshold 負荷時における呼吸補助筋の筋活動分析. 第 37 回日本理学療法学会学術大会, 2002, 5 月, 静岡.
12. 中村信義, 南口誠直, 解良武士 他：理学療法学科学生の倫理的レディネス. 第 37 回日本理学療法学会学術大会, 2002, 5 月, 静岡.
13. 一場友実, 解良武士, 糸数昌史 他：呼吸負荷抵抗の相違による呼吸補助筋の筋活動分析. 第 37 回日本理学療法学会学術大会, 2002, 5 月, 静岡.
14. 解良武士, 一場友実, 丸山仁司 他：Threshold の肺気量分画測定からみた検討 負荷圧と各肺気量位での予測最大口腔内圧との関係. 第 38 回日本理学療法学会学術大会, 2003, 5 月, 長野.
15. 上村さと美, 秋山純和, 解良武士：運動後の臥位と座位姿勢における回復 (クールダウ

ン)運動を用いた循環動態の比較. 理学療法科学学会学術大会誌, 2005, 4月, 埼玉.

16. 解良武士, 丸山仁司:異なる姿勢における腹筋群の呼吸性活動の観察. 第39回日本理学療法学術大会, 2004, 5月, 仙台.
17. 解良武士, 小椋一也, 猪股高志:ウエイトリフティング選手と一般若年者との呼吸筋力の比較. 第40回日本理学療法学術大会, 2005, 5月, 大阪.
18. 猪股高志, 矢部勝弘, 解良武士 他:坐骨神経切除後の筋および骨密度に及ぼす Isoproterenol の影響について. 第110回日本解剖学会・全国学術集会, 2007, 3月, 富山.
19. 解良武士, 上村さと美, 武井圭一, 他:上肢挙上が換気ドライブに与える影響. 第41回日本理学療法学術大会, 2006, 5月, 群馬.

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻後の発表

1. 解良武士, 玉木 彰, 長谷川聡:呼吸同調現象の出現が呼吸運動出力に与える影響. 第42回日本理学療法学術大会, 2007, 5月, 新潟.
2. 解良武士, 玉木 彰, 長谷川聡:呼吸同調現象(LRC)誘発の制限因子についての検討. 第17回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 2007, 5月, 東京.
3. 玉木 彰, 大島洋平, 解良武士 他:ペダリング運動における運動:呼吸同調現象と肺機能の関係. 第43回日本理学療法学術大会, 2008, 5月, 福岡.
4. 解良武士, 玉木 彰, 大島洋平:低強度での呼吸運動同調現象誘発が呼吸運動出力へ与える影響. 第43回日本理学療法学術大会, 2008, 5月, 福岡.
5. 大島洋平, 玉木 彰, 解良武士:運動-呼吸同調システムを用いた低強度ペダリング運動における呼吸パターンの変化:一回換気量に着目して. 第43回日本理学療法学術大会, 2008, 5月, 福岡.
6. 大島洋平, 玉木 彰, 解良武士 他:自由呼吸下での運動-呼吸リズム比が運動-呼吸同調現象誘発時の同調性に及ぼす影響. 第18回呼吸ケア・リハビリテーション学会学術大会, 2008, 愛媛.
7. 宮村章子, 解良武士:上肢エルゴメーター運動と下肢エルゴメーター運動時の気道閉塞圧($P_{0.1}$)の比較. 第17回埼玉県理学療法学会, 2008, 12月, 埼玉.
8. 古泉一久, 平塚 潤, 解良武士 他:陸上長距離選手における呼吸筋力の特性. 第20回日本トレーニング科学学会大会, 2008, 11月, 埼玉.
9. 大島洋平, 玉木 彰, 解良武士 他:ペダリング運動における運動-呼吸同調現象の発生状況-誘発角度の違いによる検討-. 第44回日本理学療法学術大会, 2009, 東京.
10. 宮村章子, 解良武士:上肢エルゴメーター運動と下肢エルゴメーター運動時の気道閉塞圧($P_{0.1}$)の比較. 第44回日本理学療法学術大会, 2009, 5月, 東京.
11. 一場友実, 小林裕司, 解良武士:吸気負荷トレーニング中の心拍出量の変動. 第44回日本理学療法学術大会, 2009, 5月, 東京.
12. 解良武士, 大島洋平, 玉木 彰 他:呼吸運動同調現象(LRC)の誘発タイミングの違いによる影響. 第44回日本理学療法学術大会, 2009, 5月, 東京.
13. 玉木 彰, 大島洋平, 解良武士 他:LRCを意図的に誘発した際のLRC発生率の時間的変化. 第64回日本体力医学会大会, 2009, 9月, 新潟.

V. 学術関連広報活動

- ①学会賞受賞、学会会長および世話人

1. 研修会長，理学療法科学学会秋期研修会「スポーツと理学療法」，2004年9月，山梨。
2. 準備委員長，理学療法科学学会秋期研修会「バランス障害に対する評価と治療」，2006年10月，山梨。

△日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻後の業績

1. 研修会長，第2回リハビリテーション卒業教育研修会「呼吸リハビリテーションの技術と知識」，2009年11月，埼玉。

②その他

【委員歴】

1. 編集委員；2001～（理学療法科学学会）。
2. インターネット管理部長；2000～2003（埼玉県理学療法士会）。
3. 教務委員会；2003～2005（健康科学大学）。
4. 学生委員；2006（健康科学大）。
5. 事務局事務部部員；2003～2007（日本理学療法士協会）。
6. 評議員；2003～（理学療法科学学会）。
7. 職能局医療保険部部員；2007～2009（日本理学療法士協会）。
8. 教学委員；2009（日本医療科学大学）。
9. 広報委員；2009～（日本医療科学大学）。
10. 編集委員；2010～（臨床理学療法研究）。
11. 理事（学術局）；2009～（埼玉県理学療法士会）。

【座長】

1. 解良武士，内部疾患・教育管理，8演題担当，第27回関東甲信越ブロック理学療法士学会，2008年8月，東京。
2. 解良武士，教育方法，5演題担当，第22回教育研究大会・教員研修会，2009年8月，大田原。
3. 解良武士，口述発表2，4演題担当，第18回埼玉県理学療法学会，2009年12月，埼玉。

VI. 現在研究中のテーマ

- 研究1 呼吸困難の呼吸運動出力による解析とリハビリテーションテクニックの評価
 研究2 呼吸および心拍と運動との同調現象について